科目名	映像リ	年度	2025						
英語科目名									後期
学科・学年	放送芸術科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	長濱和久	教員の実務経験		あり	実務経験の職種		映像PD		

【科目の目的】

ネットを中心とした新たな映像メディアの台頭により過渡期を迎えている業界の現状を 各メディアの成り立ちや特性を学ぶ事で理解し卒業後のビジョンを明確化する事を目的とする。

【科目の概要】

授業の前半では業界時事問題を取り上げ最新の業界動向や問題点を明らかにすると共に後半では映像メディアがビジネスとして成り立つ仕組みを媒体ごとに解説。学生の理解度を確認する為に授業内レポートを実施。これらを授業内でフィードバックする事で他者の考えを知る機会を与え自らの考えを導き出す。

【到達目標】

映像メディア業界の現状に対する理解からテレビ・映像メディアの将来を予測し"考察力" "分析力"の向上を図る。

【授業の注意点】

授業内で取り上げる現状やデータを自ら分析する事で自分自身の考えとして確立する事を求める。授業内での積極的な発 言については平常点に加算する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準=ルーブリック							
ルーブリック	レベル 5		レベル3		レベル 1		
評価	優れている		ふつう		要努力		
到達目標 A 制作フロー	制作の枠内での業務 分担を正しく理解し ている		制作の枠内での業務 分担をある程度理解 している		理解していない		
到達目標 B プロデュースの基礎	予算とスケジュール の管理とクリエイ ティブのバランスに ついて正しく理解し ている		予算とスケジュール の管理は出来ている		予算とスケジュール の管理も出来ない		
到達目標 C 経済とプロデュース 感覚	業種ごとの特性を理解し、そこでの最大限の利益を引き出すことを理解している		経済の重要性は理解 している		理解していない		

【教科書】

教科書/教材は特に使用しない 資料については授業内に適時配布

【参考資料】

教科書/教材は特に使用しない 資料については授業内に適時配布

【成績の評価方法・評価基準】

期末試験

※ 和	重別は講義、実習、	演習のいずれかを記	入。			ı	
科目名			映像リテラシ		年度 202		25
	英語表記			鲁	約	後	期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	自己評価
	映像コンテンツ		映像コンテンツ	マルチメディア時代と映像クリエイター			
1 及び映像制作総 論		及び映像制作総論	現状と将来性				
	制作フローとス		制作フローとスタ	制作現場の全体を知ることで、			
	タッフ編成と役 割		ッフ編成と役割	プロデューサーの仕事を学ぶ			
			プロデュースする	プロデューサーの責任、マネジメントを学	ぶ		
3	プロデュースす るという事は		という事は				
			テレビビジネス	テレビ局のビジネスモデルと視聴率、テレ	ビ		
4	テレビビジネ ス・営業		・営業	営業の仕組みと広告代理店を学ぶ			
	バラエティー番		バラエティー番組		`		
	組 プロデュー		プロデュース	クイズなどの番組構成を理解する			
6 商業映像 プロデュース		商業映像	受信料と広告収入、番組はCMの為にある、				
		プロデュース	プロデューサーVSディレクターなどを学ぶ	2,			
	ドラマ プロ		ドラマ	キャスティング、予算、スポンサーなどド	ラ		
7 デュース			プロデュース	マ制作の手順を学ぶ			
	映画 プロ		映画	テレビドラマの映画化、映画業界の繁栄と			
8	デュース①		プロデュース①	衰退、ハリウッドを知る、などを学ぶ			
n4			映画	映画制作委員会を知ることで映画業界の			
9	映画 プロ デュース②	_	プロデュース②	お金の流れを理解する			
	7.18 W -9-		スポーツ	スポーツ大会、スポーツ番組の制作、お金	の		
10	スポーツ プロ デュース	_	プロデュース	流れを理解する			
	407.34	~ 411.74	ニュース、報道	新聞とニュース番組の違い、報道番組の			
$ z_1 $ $ z_2 $ $ z_3 $ $ z_4 $ $ z_4 $ $ z_4 $ $ z_4 $	プロデュース		プロデュース	生業を理解する			
インターネット 12 番組 プロ デュース		インターネット					
			番組 プロデュース	インターネット番組の需要と供給を知る			
10	企画プロデュー		発表	番組の企画、プランニング、プロデュース	を		
13	ス演習①			考えて発表する			
	1.		発表	CMの企画、プランニング、プロデュースを	È		

14	企画フロアュー ス演習②				考えて発表する			
15	授業復習				試験対策として全授業の復習をする			
評価	評価方法:1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価: $S:$ とてもよくできた、 $A:$ よくできた、 $B:$ できた、 $C:$ 少しできなかった、 $D:$ まったくできなかった								
備考 等								